

令和元年度三重県沿岸種資源評価

アワビ類

資源水準・動向

クロアワビ：中位・増加

赤アワビ（メガアワビ+マダカアワビ）：低位・減少

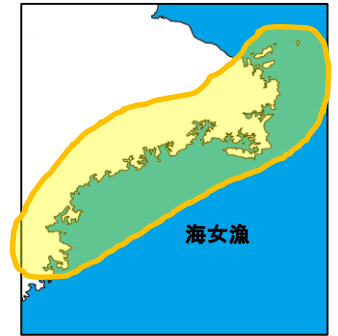
生物情報

- ・3種とも産卵期は10～12月。
- ・3種とも満1歳で殻長3cm、満2歳で殻長7cm、満3歳で殻長9cm、満4歳で11cm、満5歳で殻長12cm、満6歳で殻長13cmとなる。



漁業の特徴

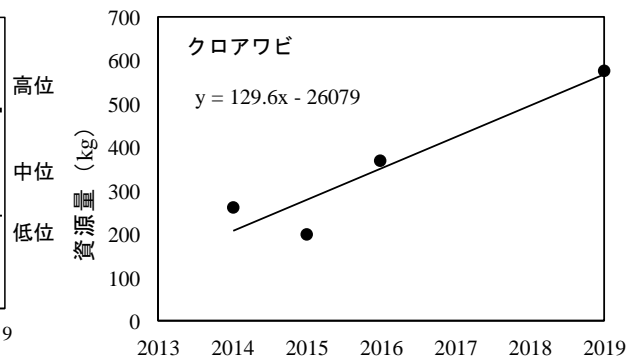
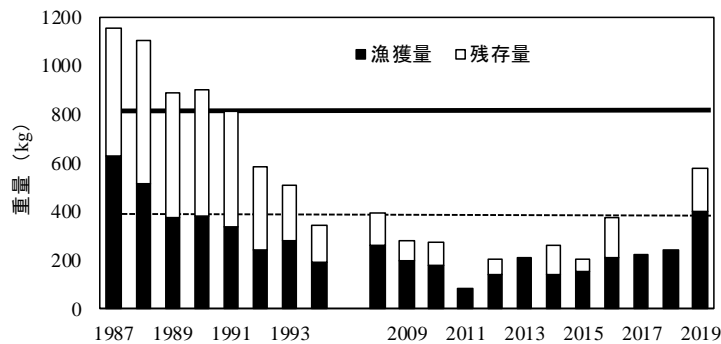
- ・漁獲のほとんどが海女漁で、漁獲盛期は4～9月。
- ・メガアワビとマダカアワビは赤アワビまたは白アワビとして一括して集荷される。



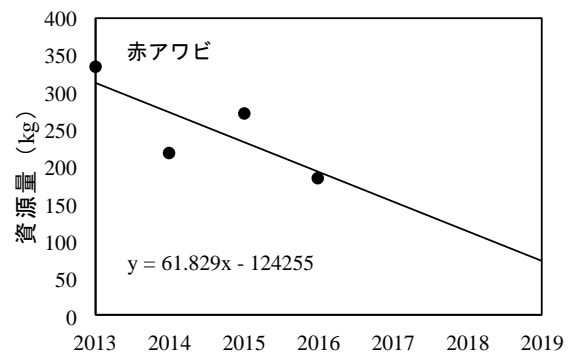
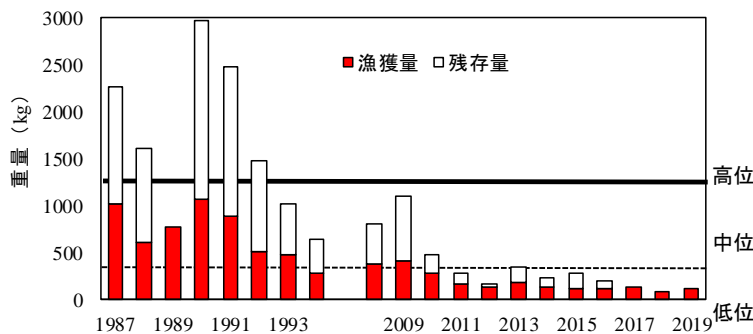
資源状態

- ・水産研究所による漁獲物調査で1987～1994年、2008年～のデータ蓄積がある、鳥羽市国崎地先A漁場の資料を用いて解析した。
- ・A漁場の漁獲動向から計算された漁期始めの資源量の動向から、クロアワビの資源水準は「中位」とした。赤アワビの資源水準は「低位」とした。
- ・また、動向はクロアワビでは「増加」、赤アワビでは「減少」とした。

クロアワビ



赤アワビ



資源管理の取組

- ・三重県漁業調整規則による漁獲制限（産卵期の操業禁止、小型個体の漁獲禁止）
- ・海女・海士による自主的な漁獲規制（漁具の制限、自主的な制限殻長の設定、禁漁区の設定等）

将来考えられる資源管理の取組

- ・殻長制限の引き上げ
- ・1人1日当たりの漁獲可能量の設定